

会社概要

社 名 株式会社 永田工務店

所在地 〒481-0035 愛知県北名古屋市宇福寺中萩113番地

TEL 0568-25-7085

FAX 0568-25-7070

E-mail nagatakoumuten@bloom.ocn.ne.jp

代表取締役 村井厚彦

創 業 昭和34年 6月 1日

設 立 昭和56年 6月 2日 (法人化)

資 本 金 1,000万円

従 業 員 2人 (職方20人)

売 上 高 464,131千円 (令和6年度) 税別

事業内容 建築・大工事業

建設業許可 知事許可 (般一2) 第40554号

取引銀行 三菱 UFJ 銀行 小田井支店
あいち銀行 師勝支店

主な仕入れ業者	株式会社 国六
	株式会社 桐井製作所
	野原産業 株式会社
	株式会社 ヤマシタ
	株式会社 チタジユウ建材
	株式会社 モリヤツ
	協和産業 株式会社

令和6年度 主な完成工事

現場名	元請会社	請負金 (税込み)
丸徳稲沢第一物流センター新築工事	浅沼組	9 7 9 万円
アリス今池五丁目 (3401-1) 新築工事	大鉄工業	4, 0 1 5 万円
名古屋市昭和区八雲町計画新築工事	大鉄工業	1, 8 3 1 万円
新栄一丁目計画新築工事	大豊建設	6, 4 2 2 万円
創価学会美濃太田会館寺院補修工事	大豊建設	2 1 4 万円
京屋旅館様リニューアル新築工事	生和コーポレーション	3, 7 4 6 万円
幅下二丁目 HANA プラザリニューアル	生和コーポレーション	2, 8 7 6 万円
白壁二丁目 C プラザリニューアル	生和コーポレーション	2, 7 8 1 万円
東郷町加藤様リニューアル新築工事	生和コーポレーション	1, 5 2 9 万円
ラ・プレイス新栄新築工事	生和コーポレーション	6, 0 1 7 万円
白金二丁目 M プラザリニューアル	生和コーポレーション	3, 4 5 4 万円
HARVEY FUSHIMI プラザリニューアル	生和コーポレーション	1 9 8 万円
新興機械工業 (株) 知立ビル	栗本建設工業	1 1 0 万円
名古屋市中区葵一丁目新築工事	栗本建設工業	3, 6 0 8 万円
サッパーク堀田新築工事	水野工務店	2, 3 6 5 万円
河悦商店 A 棟新築工事	水野工務店	3 4 1 万円
鳴海プラザリニューアル新築工事	八洲建設	4, 4 0 0 万円
京才電機製作所工場増築工事	八洲建設	4 0 7 万円
森島邸離れ新築工事	中野建設	3 8 5 万円
武豊北イナチエビル料金所建設工事	日愛工業	1 3 2 万円
三和電気社屋新築工事	加藤連合建設	3 1 3 万円
河村マテリアル倉庫新築工事	石黒建設	1 3 6 万円
タウンスайдローズ改修工事	自社	4 0 7 万円

株式会社永田工務店 SDGs宣言

当社は国連が提唱する「持続可能な開発目標（SDGs）」に賛同し、積極的な取り組みを通じて持続可能な社会の実現に貢献してまいります。

2024年10月1日
株式会社永田工務店
代表取締役 村井 厚彦

SDGsへの取り組み



内装工事で人々の暮らしをささえる

あらゆる内装工事における技術・施工を通じて、幅広い地域の皆様のインフラを支えています。

【主な取り組み】

- ・ 公共施設やホテル、マンション等の内装工事、点検、補修
- ・ 誠実に信頼ある取引の徹底
- ・ コンプライアンスの遵守



笑顔で働ける職場づくり

安全指導による徹底した安全管理を行うとともに、快適な職場環境の整備と積極的な人材教育により、笑顔で働くことのできる職場づくりを実施してまいります。

【主な取り組み】

- ・ 資格取得費用の会社負担による自己啓発支援
- ・ 柔軟な勤務形態の整備
- ・ 健康診断、人間ドックの定期受診
- ・ 福利厚生の実施



環境への配慮

事業活動における省エネ、省資源の取り組みを通じて環境負荷低減に努め、地域の環境保全に貢献してまいります。

【主な取り組み】

- ・ 省エネ、省資源への取り組み強化
- ・ 紙資源の削減、分別の徹底
- ・ H V車の積極導入



地域社会への貢献

地元での積極的な人材採用や地域に対する社会貢献活動の実施により、持続可能な地域社会の実現に貢献してまいります。

【主な取り組み】

- ・ 地元人材の積極採用
- ・ 地元企業からの積極受注、地元協力会社への積極発注
- ・ 地域内の清掃活動

持続可能な開発目標 SDGsとは

SDGsは、「Sustainable Development Goals（持続可能な開発目標）」の略称で、2015年9月に国連で採択された2030年までの国際開発目標。17の目標と169のターゲット達成により、「誰一人取り残さない」社会の実現に向け、途上国及び先進国で取り組むものです。



※本宣言書は、バナナペーパーを使用しております。



～バナナペーパーとは～

バナナペーパーは、今までは廃棄されただけだったオーガニックバナナの茎から取った「バナナ繊維」を原料として使用し、日本の和紙の技術を用いて作られた「ラエクトレード」の紙です。

野生のシマウマ、キリン、ゾウが自由に歩くアフリカ南部にある国・ザンビアの村で繊維を取っています。この繊維を取るという仕事のおかげで、アフリカの女性たちに雇用が生まれ、子供たちが学校に行ったり、スマートフォンを予防するための蚊帳を買ったり、電気のない家にソーラーランプをつけたりすることができるようになりました。

環境に配慮し、アフリカの貧困層の村に雇用を生み出し、現地の人々の自立を支えるバナナペーパーは、国連サミットで採択された「持続可能な開発目標（SDGs/Sustainable Development Goals）」の達成の貢献につながると特徴を持っています。